

⑬ Int. Cl.<sup>8</sup>

H 04 Q 9/00  
B 42 D 11/00  
F 24 F 11/02

識別記号

3 7 1 A  
3 3 1 Q  
1 0 4 A

庁内整理番号

7060-5K  
6548-2C  
6548-2C  
7914-3L

⑭ 公開 平成4年(1992)4月7日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全3頁)

⑮ 発明の名称 ワイヤレスリモコン装置

⑯ 特 願 平2-223254

⑰ 出 願 平2(1990)8月24日

⑱ 発 明 者 青 木 正 夫 神奈川県川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

⑲ 出 願 人 株式会社富士通ゼネラル 神奈川県川崎市高津区末長1116番地

# 明 細 書

## 1. 発明の名称

ワイヤレスリモコン装置

## 2. 特許請求の範囲

(1) ワイヤレスリモコンと、その取扱説明書とから成るものにおいて、前記取扱説明書の所定位置に前記ワイヤレスリモコンの収容部を設け、前記ワイヤレスリモコンとその取扱説明書とを一体に構成してなることを特徴とするワイヤレスリモコン装置。

(2) 前記取扱説明書の一側に前記ワイヤレスリモコンの操作方法を列記し、前記ワイヤレスリモコンが収容されている他側に前記ワイヤレスリモコンの操作ボタンの種類をそれぞれの操作ボタンに対応させて表示して成る請求項1記載のワイヤレスリモコン装置。

(3) 前記ワイヤレスリモコンが収容されている他側の上部に、前記ワイヤレスリモコンの赤外線符号を送すための切り通しを設けて成る請求項1記載のワイヤレスリモコン装置。

## 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はワイヤレスリモコン装置に関する。

(従来の技術)

空気調和機等の遠隔制御に使用されるワイヤレスリモコンは、その性能向上とともに小型化が進み、操作ボタンや表示ボタンの種類を減らす表示等も小さくなって来た。

一方、ワイヤレスリモコンの操作方法については機器本体の取扱説明書内に図解入りで記載するのが一般的な方法であった。

(発明が解決しようとする課題)

しかしながら、上述のように、ワイヤレスリモコンの小型化が進むと操作ボタンやその表示ボタンの種類を減らす表示までも小さくなり、小さな文字の読み取りが困難な人にとってはボタン操作が煩わしく、また、操作ボタン等が小さいと目の不自由な人のための点字を設けることもできず、ときには操作ミスを起こすこともある。

だからといって、取扱説明書を一々取り出して

床て見くもべながら●ン操作をするのも面倒なものである。

したがって、本発明においては、これらの問題を解決し、取り出しが容易なワイヤレスリモコン装置を提供することを目的としている。

(問題を解決するための手段)

本発明は上記の問題を解決するためになされたものであり、ワイヤレスリモコンと、その取扱説明書とから成るものにおいて、前記取扱説明書の所定位置に前記ワイヤレスリモコンの収容部を設けて前記ワイヤレスリモコンとその取扱説明書を一体に構成し、その取扱説明書の一侧に前記ワイヤレスリモコンの操作方法を列記し、前記ワイヤレスリモコンが収容されている側面に前記ワイヤレスリモコンの操作ボタンの種類をそれぞれの操作ボタンに対応させて表示することにした。

(作用)

上記の構成であれば、ワイヤレスリモコンと、取扱説明書とが一体になるので、両者を同時に手にすることができるようになり、操作手順の確認

られ、その収容部8の周縁には複数の操作ボタン3a~3eの種類の表示が大きい文字で表現されている。

前記収容部8はリモコン1の形状に合わせて切り下げられたような形になっており、上部は赤外線信号を通すために切り通し7が形成されている。

リモコン1が収容部8に収容されたとき操作ボタン3a~3eの表面は取扱説明書2の表面よりもやや低めになるように形成されているので取扱説明書2の左側を閉じても操作ボタン3a~3eが押されるようなことなく、したがって、誤操作を感動作させることはない。

取扱説明書2の左側に印刷された操作手順(運転のしかた)の番号と、右側に印刷された番号とは対応しているため操作ボタン3a~3eの操作の手順や運転のしかた等が分かり易く、番号に合った操作ボタンを操作することによって間違いのないリモコン操作ができる。

なお、前記取扱説明書の文字を点字にすれば、目の不自由な人にも使えるようになる。

等が周に●るとともに、操作ボタンの種類を表す表示はリモコン本体の扱い表面とか小さな操作ボタンの表面とかではなく、取扱説明書側に表示するので文字を大きくすることができ、点字で表現することもできる。

(実施例)

以下、本発明の一実施例を第1図~第2図に基づいて説明する。

図において、1は空気調和機用のワイヤレスリモコン(以下、リモコンという)、2は取扱説明書であり、第1図はリモコン1と、取扱説明書2とを別々に、第2図は両者を一体に組み合わせた状態で表現したものである。

リモコン1側には言うまでもないが複数の操作ボタン3a~3eを有する操作部3と、設定内容等が表示される表示部4と、赤外線信号を通過させる窓5とが設けられている。

一方、取扱説明書2は左右中央で開閉自在に連結されており、左側にはリモコン1の操作手順が列記され、右側にはリモコン1の収容部8が設け

(発明の効果)

以上、説明したようなワイヤレスリモコン装置であるならば、ワイヤレスリモコンと、取扱説明書とが一体に組み合わされているので、リモコン操作に不慣れな人は取扱説明書を見ながら容易に操作することができ、更に、操作ボタンの種類を表す表示はそれぞれの操作ボタンに対応させて取扱説明書側に大きな文字で表現されているので、小さな文字を読み取るのが困難な人にとってには操作ボタンの確認が容易にでき、また、ワイヤレスリモコン側では困難であった点字による表現も取扱説明書側であれば容易にできるので目の不自由な人にも役に立ち、便利で操作性の良いワイヤレスリモコン装置を提供できる。

図面の簡単な説明  
4. 図面の詳細な説明

第1図は本発明の一実施例を示す概略分解斜視図、第2図は同実施例の組み上がり拡大図である。

図中、1……ワイヤレスリモコン、2……取扱説明書、3……操作部、3a~3e……操作ボタン、4……表示部、5……窓、6……収容部、7……切り通し。

特許出願人 株式会社富士通ゼネラル

図 2

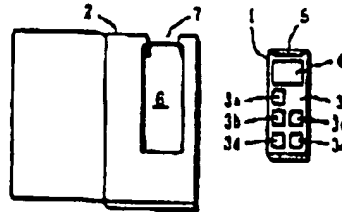


図 2

<p>運転のしかた</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「運転・停止」ボタンを押す。</li> <li>2. 「運転モード」ボタンを押して、運転・待機・ドライの何れかに合わせる。</li> <li>3. 「風量設定」ボタンを押して、好みの風量を設定する。</li> <li>4. 「風量」ボタンを押して好みの風量を設定する。</li> </ol> <p>停止のしかた</p> <p>「運転・停止」ボタンを押す。</p>	
---	--

BEST AVAILABLE COPY